

ふくちやまし

議会だより

2012
9



■発行／福知山市議会 ■編集／福知山市議会だより編集委員会 ■平成24年9月1日発行 No.90



みんなで楽しかったよ！ (8月1日大江山、二瀬川の溪流)
夏の暑い時期に、山からの清流で遊ぶ園児たち
(撮影:岩井 足立 千代美さん)



主な内容

6月定例会市議会の概要	2～3
意見書・決議の状況、議会日誌	4
一般質問(17人が登壇)	5～13
常任委員会の審査報告	14～15
議員別議案賛否一覧表	16
議会報告会	17
由良川改修促進特別委員会活動報告	18
広報広聴に関する検討委員会の設置	18
議会だより編集委員会活動報告、ご意見箱	19
元気やで福知山! 「福知山よさこい絆」にインタビュー	20

議会だより表紙の写真を募集しています。詳しくは、市議会事務局 (TEL24-7031) まで。

8979万円を追加! 大規模!! 総額440億7979万円! 『散・清算に関する決議』を可決!

概要

6月定例会は6月27日から7月20日までの24日間にわたって開催されました。

市長提出議案では、平成24年度一般会計補正予算、条例の制定および改正、土地開発公社の解散・清算に関する議案など全23議案を審議し、いずれも原案可決されました。土地開発公社が解散・清算するにあたり、外部有識者を含めた検討委員会を設けることを求めるなど5項目からなる内容の決議を議員提出議案として全会一致で可決しました。(決議文4ページ参照)

人事議案では、公平委員、教育委員、固定資産評価審査委員会委員、人権擁護委員について同意しました。

一般質問は、7月6日、9日、11日の3日間で行われ、17人の議員が質問に立ち、市政を質しました。

一般会計他補正予算の主な事業(抜粋)

I 自然との共生で災害に強い

安心安全なまちづくり

- 住宅用太陽光発電システム設置 600万円
- 防犯灯LED照明化 195万円
- 防衛施設周辺整備 1114万円
- 社会資本整備総合交付金(道路整備) 1098万円
- 道路新設改良 255万円

II 個性が輝く未来あるまちづくり

(オンリーワンの子育て環境づくり)

- ジュニア文化活動全国大会等出場激励金交付 30万円
- 不妊治療費充実助成 217万円
- 通学路安全緊急対策 1000万円
- 実践的防災教育総合支援 140万円

III 改革進め府市協調で

健全な行財政づくり

- 土地開発公社解散・清算 49億9627万円
- 地籍調査 403万円
- 都市計画道路見直し 592万円

IV 雇用が進んでまちの活気づくり

- 大原地区産屋周辺整備 700万円
- 夜久野玄武岩台地活性化 400万円
- 大呂自然休養村整備 2300万円
- 有害鳥獣捕獲 380万円
- 中小企業販路開拓支援 200万円
- まちなみ環境整備 1419万円
- 中心市街地活性化関連道路整備 500万円
- 三段池公園カルチャーパーク整備 601万円
- 文化・スポーツ合宿補助 167万円

V ふるさとでいつまでも幸せ実感

福祉と文化のまちづくり

- (仮称)市民交流プラザふくちやま建設 11億3710万円
- (仮称)福知山市発達支援センター基本計画 246万円
- (仮称)市民交流プラザふくちやま図書館資料購入 6000万円

(※予算額については、万円止で記載しています)

6月 定例 市議会

一般会計補正予算額63億 一般会計予算として過去最 『福知山市土地開発公社解

◆条 例

- 福知山市第三セクター等改革推進償還基金条例（新規）
- 福知山市税条例の一部を改正する条例（一部改正）
- 福知山市印鑑登録及び証明に関する条例・福知山市手数料条例・福知山市斎場条例（一部改正）
- 福知山市立学校設置条例（一部改正）
- 福知山市立幼稚園保育料条例（一部改正）

◆その他の議案

- 権利の放棄
福知山市土地開発公社の解散に伴い、福知山市が福知山市土地開発公社の債務を代位弁済する49億9626万9851円のうち、福知山市土地開発公社から代物弁済を受ける30億9805万6872円を除いた18億9821万2979円の求償権の放棄
- 損害賠償の額について（2件）
 - ・今安地内において、自動車が市道陥没部分を走行し、損傷したことによる賠償
 - ・成和中学校でグラウンドのフェンスを越えたサッカーボールが民家の屋根を損傷させたことの賠償
- 辺地総合整備計画の変更
大呂・喜多辺地にかかる計画（H24～H26）に観光施設（事業費3億6500万円）を追加
- 過疎地域自立促進市町村計画の変更
計画に「大原地区産屋周辺整備事業」、「大江由良川堤防新線」の2事業を追加
- 福知山市土地開発公社の解散
土地開発公社を解散するために、公有地の拡大の推進に関する法律の規定により、議会の議決を求める
- 第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請
土地開発公社の解散に伴い必要となる債務保証に要する経費に充てるため、京都府知事への許可申請に先立ち、地方財政法の規定により議会の議決を求める
- 財政調整基金の繰入れ
土地開発公社解散・清算のために、20億円以内を取り崩し、一般会計へ繰り入れる
- 専決処分の承認について
5条例の一部改正

◆報 告

- 平成23年度予算繰越計算書
- その他の債権の放棄（2件）

◆人事議案

- 公平委員 牧 壽子まき ことさん（かしの木台64歳・新任） 若林 滋樹わかばやし しげきさん（西中ノ町48歳・再任）
- 教育委員 大槻 豊子おおつき ともさん（和久市町45歳・再任）
- 固定資産評価審査委員会委員 乾 倬一郎いぬい たくいちろうさん（立原66歳・再任）
- 人権擁護委員 衣川 靖雄きぬがわ やすおさん（夜久野町山中68歳・再任） 荒川 京子あらかわ きょうこさん（新庄58歳・新任）
松田 規まつだ きたしさん（興63歳・新任） 岡田 壽仁おかだ としひとさん（三和町中出53歳・新任）

意見書・決議の状況

- 「基地対策予算の増額等を求める意見書」を関係機関に提出した
(基地対策予算は、自衛隊の施設が存在する市町村に国から交付される)
- 「福知山市土地開発公社解散・清算に関する決議」(内容は以下のとおりです)

福知山市土地開発公社解散・清算に関する決議

福知山市は、福知山市土地開発公社を解散し清算するに当たり、次の事項を早急に履行するものとする。

- 1 公社解散までに、新たに見直した中期財政計画を議会に示すこと。今後も土地価格の下落が止まらず、そのことによって、毎年繰り上げ償還する予定の2億円の財源確保ができない場合は、執行部において必ず不足分を措置すると共に、その財源を明らかにすること。
- 2 外部監査を導入し、毎年の土地売買の実績、販売価格・取得価格、代物弁済として市が引き継いだ土地の評価額約31億円について、公認会計士、不動産鑑定士を含めた第三者検討委員会にて調査し、年次計画や売却管理等を行い、その都度、議会に報告書を提出し、内容を市民に明らかにすること。
- 3 福知山市が約31億円の代物弁済、約19億円の求償権放棄を行い、公社を解散し清算するに当たり、その一連の過程を資料等の工夫を図り市民へ分かりやすく情報公開し説明責任を果たすこと。
- 4 約50億円の債務保証を履行するに当たっては、簿価の付け替えや粉飾決算を知らなかったとする答弁や、平成12年以来3度にわたる国の技術的助言に漫然と対応しなかった責任について、歴代土地開発公社役員
の経営責任と債務負担行為に対する市の監督責任を明確にした総括を行い、その処分の内容を公表すること。
- 5 「福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会」及び「土地開発公社経営検討委員会」の提言を重く受け止め、確実に履行すること。

以上、決議する。

平成24年7月20日

福知山市議会

議会日誌

5月～8月



27日	25日	21日	20日	18日	15日	12日	7日	5日	4日	1日	31日	30日	25日	24日	23日	22日	21日	18日	17日	16日	14日	8日	1日	〔5月〕	29日	〔7月〕	
協議会、各派幹事会	経済委員会行政視察	議員報酬等検討委員会	幹事会	議会運営委員会、全議員協議会、各派幹事会	各派幹事会	広報広聴に関する検討委員会	市民厚生委員協議会	各派幹事会	京都府市議会議長会定期総会	全議員協議会、総務委員協議会	文教建設委員協議会管内視察	会総会・研修会	議会運営委員会、各派幹事会	市民厚生委員協議会、岡山県津山市議 会行政視察来市	政視察来市	済委員協議会 北海道岩見沢市議 会行政視察来市	全国市議会議長会定期総会、総務・経 済委員協議会 北海道岩見沢市議 会行政視察来市	視察、山梨県南アルプス市議 会行政視察来市	議会だより編集委員会行政視察	埼玉県北本市議 会行政視察来市	議員報告会作業部会	議会報告会関係委員会正副 委員長会	議員報酬等検討委員会	東京都昭島市議 会行政視察来市	広報広聴に関する検討委員会	議会だより編集委員会	議会だより編集委員会
29日	27日	24日	23日	21日	17日	10日	9日	7日	3日	1日	27日	26日	24日	24日	20日	19日	17日	13日	12日	11日	9日	6日	5日	2日	29日		
議会運営委員会、全議員協議会、決算説明会	総務委員協議会	議員研修会	由良川改修促進特別委員会要望活動	京都府市議 会議長会ブロック代表者会議 議会運営委員会行政視察	全議員協議会、 文教建設委員協議会	議会だより編集委員会、市民厚生委員 協議会	副委員長会要望活動	由良川沿川市議 会関係委員会正 副委員報告会	議会運営委員会、議会だより編集委員 会、議会報告会	議員報酬等検討委員会、議会報告会、 岩手県一関市議 会行政視察来市	議員研修会	京都府北部五 市議 会連絡協議会	総務委員協議会	全国市議 会議長会近畿部 会総会	6月定例市議 会本会議、議 会運営委員 会広報広聴に 関する検討 委員会、全 議員協議会、 議会運営委員 協議会、市 民厚生委員協 議会	近畿市議 会議長会理事 会	総務委員協議 会、総務委員 協議会	総務委員協議 会、総務委員 協議会	総務・市民厚生・ 経済・文教建設 委員協議会	6月定例市議 会本会議、議 会運営委員 会各派幹事 会	6月定例市議 会本会議	6月定例市議 会本会議	6月定例市議 会本会議	全国市議 会議長会基地 協議会理事 会	京都府市議 会議長会ブ ロック代表 者	議会だより編 集委員会	

6月定例市議会

ここが聞きたい!



一般質問

17議員が質問に登壇!

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

●質問議員●

- 1. 田中 法男 (福知山未来の会)
- 2. 大谷 洋介 (公明党市会議員団)
- 3. 稲葉 民俊 (福政会)
- 4. 桐村 一彦 (平成会)
- 5. 吉見 純男 (日本共産党市会議員団)
- 6. 塩見日出勝 (維新福知山)
- 7. 高橋 正樹 (維新福知山)
- 8. 足立 進 (日本共産党市会議員団)
- 9. 吉見 茂久 (公明党市会議員団)
- 10. 塩見卯太郎 (日本共産党市会議員団)
- 11. 藤田 守 (平成会)
- 12. 高宮 辰郎 (平成会)
- 13. 大槻富美子 (日本共産党市会議員団)
- 14. 中島 英俊 (日本共産党市会議員団)
- 15. 田淵 裕二 (福知山未来の会)
- 16. 森下 賢司 (福知山未来の会)
- 17. 足立 伸一 (公明党市会議員団)

※所属会派は7月末現在



福知山未来の会
田中 法男 議員

松山市長2期目の
マニフェスト

問 中心的課題の中で特に4対策の主な項目は。

答 「子育て対策」は、不妊治療と出産医療の支援・民間保育園支援と園庭の芝

生化の推進・「ふくふく医療」対象者を中学3年生まで拡大・子育てバリアフリ

ーマップの作成などを進める。

「教育環境対策」は、放課後児童クラブの充実・小中学校全教室へのエアコン設置・第三種陸上競技場ほかスポーツ施設の整備などを進めていく。

「高齢者対策」は、安心生活見守り事業の実施・敬老乗車券の発行・高齢者有料賃貸住宅制度の創設などを進めたい。

「雇用対策」は、中小企業サポートセンターの開設と雇用戦略会議の設置・公

河川改修計画

問 由良川改修の今後の計画は。

答 下流部は緊急水防対策完了年度の平成26年度に向けて早期完成を目指す。

問 中流部の現況は。

答 私市地区は今年度も早期着手に向け用地取得を実施中。戸田地区は戸田橋上

契約条例の制定・高齢者雇用の拡大と若者の雇用をつなぐ循環型雇用システムの検討などを行う。

(市長)

流部の早期閉切りに向け用地交渉を続けている。

問 京都府の河川整備計画の内容と今後の予定は。

答 京都府が管理河川を今後30年間で整備するためにこの計画を策定した。

重要整備河川として、宮川・牧川・和久川・相長川

・大谷川・大砂利川の6河川を位置づけている。

問 相長川の大規模改修の内容と今後の予定は。

答 由良川改修と一体となつて付け替えるもの。用地買収に取り組んでいる。

問 大谷川の整備の必要性については。

答 道路や鉄道で川幅が狭い区間もあり、台風23号で人家被害の大きかった石原地区や土地区の改修は喫緊の課題だと認識している。

(都市整備課)

問 市河川の改修の現況は。

答 河川浚渫工事として自治会要望の中から順次実施している。今年度から河川維持管理事業を創設し予算を増額して対応していく。

(土木課)

原発事故をめぐる市の対応

問 原子力防災の対応は。

答 昨年度から「原子力災害住民避難計画」の策定準備を進めている。(危機管理室)

問 計画停電の対応は。

答 斎場は原則として通常通り行う。ごみ収集も実施するが、収集が遅れる可能性あり。前日午後6時に停電予告があれば翌日の学校給食は中止する。

(環境政策室)



公明党市会議員団
大谷 洋介 議員

2期目に入る松山 市政について

問 「大阪橋本維新の会」などの地域政党の動きをどのようにとらえるか。

答 市政への関心が高まることから歓迎する。

問 公務員改革にどう取り組むか。

答 向こう4年間で、職員数を35人減らし、歳出を11・2億円削減する。(市長公室)

「防災・減災政策」 防災力の強化と経 済活性化を

問 緊急災害時に対応するための地元企業へのBCP(事業継続計画)策定支援の取り組みを。

答 3月議会会で約束した通り、商工会議所などの経営相談、事業所訪問時に紹介している。3月21日開催の福知山企業交流会でBCP

の説明会を実施し、61人の参加があった。(商工振興課)

橋、建物、管は 大丈夫か

問 一般的に、コンクリートの耐用年数は50年から60年と言われているが。

答 市の橋は、14・5m以上で50年以上が19橋ある。市の公共施設は、50年以上が9%あり、市役所本庁舎は昭和51年建築で築36年経過し耐震改修の予定である。上水道については、浄水施設38カ所のうち5カ所が法

定耐用年数を超えている。耐震化と長寿命化を図り、経費を抑え、更新したい。(土木課、建築課、水道課)

防災会議への女性 委員の登用を

問 昨年12月議会会で、前向きな登用の約束をいただいたが。

答 防災会議の委員は、防災機関の長が就任となっており、専門委員として女性を登用したい。(危機管理室)

災害時の市ホームページの 代理掲載 について

問 昨年12月議会会で提案したが。

答 5月22日、長崎県島原市との災害時における相互応援協定の中で締結した。大規模災害時に市民に的確な情報発信を行うため、遠隔地の自治体と提携した。(市長公室)

学校の天井、照明、 壁、窓ガラスなど の耐震化を

問 非構造部材については、昨年5月1日で全国の公立小中学校で耐震化率3割にも満たず、1万校以上で耐震点検すら実施されていないが。

答 福知山市は、構造部材については、平成26年に耐震化率100%となる。これからは、避難所として安心して使用いただくため、非構造部材の耐震点検にも取り組んでいきたい。(教育総務課)



福 政 会
稲葉 民俊 議員

中学校完全給食化 の取り組みについ て

問 現在までの整備状況は。新給食センターの建設は、来年1月末の完成予定である。給食配膳室については、今年度全学校で完了する。

問 教職員、学校職員の給食に関わる対応は。

答 経験の無い教職員については、研修を考えている。6中学校には給食配膳員の配置をし、給食準備会で対応したい。(教育総務課)

市長選挙の開票作 業について

問 開票率の低い結果について。

答 開票作業(票を開く作業)・点検作業の人員が38人少ないために遅れた。**問** 今後の改善策は。

問 開票作業専門の職員の配置や自動読み取り分類機を導入し迅速化に努めたい。

答 (選挙管理委員会)

道路交通環境整備 と交通安全教育に ついて

問 小学生に対する交通安全教育は。

答 「通学路安全対策連絡会議」を発足させ環境を整える。また小学生自転車安全教育については、学校・交通指導員・PTAと協力して安全教室などを開催し

ていきたい。(学校教育課)

問 日新中学校下、信号機設置を。

答 設置については、京都府公安委員会の判断であり市としても「安心・安全」対策として要望をしたい。(生活交通課)

問 都市計画道路多保市正明寺線「高畑橋」の整備計画は。

答 平成27年の完成を目指しているが、地元との調整も多くあり、完成時期は確定できない。(都市計画課)



都市計画道路 多保市正明寺線の高畑橋

防火予防活動の 推進について

問 平成23年度の火災発生件数とその主な要因は。

答 火災発生件数は48件であり建物火災は19件、主な要因は放火または放火の疑いがあるのが9件、たき火・あぜ焼きが6件、タバコが5件である。

問 予防活動について。

答 市防災センターの役割は、過去の災害を振り返りながら「見て」「触って」「体験する」する施設である。出向しての予防活動は、年間679回で1万7995人が受講された。(消防本部)



平 成 会
 桐村 一彦 議員

**松山市政二期目
スタートについて**

問 「市民をど真ん中」に
おいた施策とは。

答 「市民による市民のため
の市民の市政の実行」か
らより踏み込み、「市民の
声なき声を聞く環境づく
り」をしたい。

問 多種多様化する行政、
「副市長一人体制」で大丈
夫か。

答 他市でも一人体制が多
い。また部課長のよりよい
成長と、ごんごん責任を持
たせ、市政のために力を出
してもらいたい。
（市長）

**農業の担い手育成
は**

問 次世代への農業を引き
継ぐことが、非常に困難な
状況である。施策や法人営
農化事業の現状は。

答 国による地域農業マス
タープランに基づき、個別
完結型農業から営農組織づ
くりのため、地域ぐるみで
法人営農化事業の育成や促
進支援を継続実施し、農業
を守っていく。六次産業化
に向けた地域指定も考えて
いる。
（農業振興課）

問 全国的に、間伐期をむ
かえた人工林がある。間伐
材の利用方法は。

答 建設材、合板などに利
用されている。福知山産材
を利用した新築、増築に対
する支援を行い、建設材と



間伐作業と作業道造成現場

**雇用拡大による
若者定住施策は**

しての利用促進を図ってい
る。間伐材を利用した治山
ダムへの利用もされている。
（林業振興課）

問 卒業後、都会に出てい
き、地元に残る若者が少な
い。自宅から通勤できるこ
とが理想だが、市の考えは。

答 若者の定住促進の取り
組みは雇用確保が一番。就
労の確保に向け、長田野工
業団地やアネックス京都三
和への企業誘致を促進する
ことが大切。農山村地域の
若者定住化については、地
域の空き家情報バンク制度、
農業体験を通じて魅力に触
れる機会を作り、地域の維
持につなげる。
（商工振興課農

問 学校教育の場での施策
は。

答 ふるさとに愛着を感じ、
共に幸せを生きる社会の実
現を目指して、自分の為
に人の為に世の為につくす教
育を実践している。
（学校教育課）



日本共産党市会議員団
吉見 純男 議員

**土地開発公社解散
説明責任を放棄**

問 福知山市土地開発公社
解散・清算事業について、
市の責任ある総括と説明が
されていない。松山市政と
して、危機意識の欠如だが

答 昨年12月に報告した
「福知山市土地開発公社
全化計画」の一番のポイン
トは、公社借入金を50億円
以内に圧縮して、国が利子
補給する借入れを行ない、
土地開発公社の解散をする。
今回、基金をできるだけ活
用し、将来の財政負担を軽
減できる観点から借入金
を20億円活用した。昨年
の「健全化計画」は変わっ
ていない。議案提案時に説
明しているのでご理解願
いたい。
（財政課）

**歴代公社役員
の経営責任は**

問 土地開発公社購入土地
の金利付け替えや、粉砕決
算を知らなかったとするこ
とや、平成12年以来、3度
にわたる国の技術的助言に
歴代公社役員が漫然と対応
しなかった責任について、
厳正な処分を行い市民の信
頼回復に努めるべきだが。

答 市民の負担をできる限
り少なくするためには、土
地開発公社が一日でも早く
解散することであり、大き

**大飯原発再稼働で
市長答弁が後退**

な課題を引き継いだ市長と
しての責任の取り方が、こ
ういう形になって表れたと
いうことで理解願いたい。
（財政課）

問 3月議会で市長は安全
対策の8条件をクリアしな
いと再稼働は無いだらうと
答弁された。市民の安全と
電力不足をてんびんにつ
て、十分な安全対策がない
のに原子力発電所の再稼働
を認めることは、これまで

の安全神話を容認すること
になる。再稼働については
中止すべきと答弁するの
が市長の立場だが。

答 福知山市は大きな工業
地帯を抱えており歯切れの
良い答弁はできない。
（市長）

**瑞穂産廃処理場へ
焼却灰ダメだが**

問 下流域の福知山市とし
て、瑞穂産廃処理場への放
射性焼却灰の受け入れは認
められないが。

答 昭和59年1月に成立し
た裁判「和解調書」で処分

場に埋め立てる廃棄物は安
全な物に限定すると規定さ
れている。これを遵守され
るものと考えている。
（三和支所）



瑞穂産廃処理場



維新福知山 塩見日出勝 議員

まちなか循環路線 バスについて

問 1便0・98人の乗車率の課題と今後の計画は。

答 4月平均乗車率は1便当り0・98人。計画では年間利用者数5万人で1便当たり8人と設定していた。新たに市民病院への乗入れ

をした。今後は各交通機関との接続を含め乗客数の増加を図る。



まちなか循環路線バス

問 旧3町市バスと比べて便数と料金の格差問題と今後の課題は。

答 高齢化などで農業者の減少が見込まれる中、新規就農者の育成をはかるともに集約的な農業構造を目

ている地域には、過疎地有償運送、福祉有償運送などを利用していただきたい。今後の課題として、三和地域の市バスは福知山への乗り継ぎを便利にしていきたい。

農業と地域活性化 について

問 人、農地プランの申請状況について。

答 土地確保については農地集積協力金制度を活用する。住居確保については空家バンクの制度や地域の斡旋により確保。生活確保については所得の確保をはかる観点から、45歳以下の独立自営就農者を基本とし年間150万円を最長5年間

指す。現在50集落からプラン作成にむけた取り組みの意向を聞いている。

問 新規就農者などの定住促進化と土地確保、住居確保、生活確保について。

答 市内全域の説明会は終了しているが、プラン作成に向けて現在個別の協議を行っている。

由良川中流部水害 対策について

問 中流部築堤進捗状況は。

答 投資予算は中流部で8億2900万円。私市地区で築堤工事の早期着手に向けた用地交渉に取り組んで

は。

問 石原地区(大谷川)河川改修。

答 全区間約3590mの整備を国交省の築堤事業と連携して整備をすると京都府から聞いている。



維新福知山 高橋 正樹 議員

物品入札の現状に 便宜供与の疑問

問 来年から運用開始される新学校給食センターが新築されているが、給食配送車の買い替え入札に際し、一つの自動車メーカーの一車種に限定した入札が行われた。理由は何か。

答 学校内を頻繁に走ることになり、授業に支障をきたすことがないよう、発進時に電動モーターのみで走行できるハイブリッド型トラック一車種に限定した。

問 現在、トラックは、発進時にモーター駆動のみで走行可能な車種は生産されておらず、指定車種もモーターのみでの発進走行ができない駆動システムだが、どうなっているのか。

答 指定した車種はモーター発進走行できると考え

ている。

問 ここにカタログもあるがそうっていない。納車車両が入札仕様条件に適合していないなら、契約違反になるが、もし、発進時、モーターのみでの走行ができなければどうするのか。

答 想定の話をするのは考えていない。

物品入札について 情報公開で公平・公正な規定に

問 建設工事については、

(学校給食センター)

工事額が250万円以上はすべての情報が一般公開されているのに、物品入札については数億円の高額な入札でも情報公開が一切ないのは、おかしいのでは。

答 現在は規定がないが、今後、規定を設けることが、公平・公正だと思う。(市長

市民交流プラザは コンセプトがシッ チャカメツチャカ

問 市民交流プラザの基本設計が公開された。西側がいちめんガラス窓となつて

いて、コンセプトでは、内部活動の様子を駅前広場にむけて発信していく『駅前大型モニター』としての機能を併せ持つとなっている。しかし、図書館という用途上、昼間の大半の時間はブラインドが降りていて内部が見えないことが予想され、コンセプトどおりの目的が果たせるのか疑問だが。

答 季節や天候にもよるが、読書に支障をきたすことから、ブラインドを降ろさざるを得ないだろうと想定し



(仮称)市民交流プラザふくちやまの外観

(市長公室)



日本共産党市会議員団
足立 進 議員

公契約条例の制定を

問 公契約とは、国や自治体が公共事業や業務委託などの発注で、受託する事業者との間でむすぶ契約である。その際、人間らしく働くことのできる労働条件確保の条項を定めている条例

が公契約条例である。地元業者の保護と育成の観点から、公契約条例を制定するべきではないのか。

答 市が発注する工事や物品の取得については、市内の企業ができるだけ多く受注できる機会をつくることが必要である。公契約法の制定について、賃金規制の是非、または規制する賃金水準のあり方、それを設定する企業への影響など、課題も多々あるように思っているが、先進自治体の取り

組みも研究し、今後の制定に向けて検討する。

市街化調整区域の制限緩和を

(管財契約課)

問 市域の周辺部では後継者の問題が深刻な状態となっている。市街化調整区域の一部でも地域の実情に応じて規制緩和ができれば、後継者の確保につながるのではないか。

答 本年度作成した、福知山市都市計画マスタープランは集落における町づくり

の方向性を明らかにして、日常生活に必要な機能の回復を位置づけている。一定の開発が可能になることで地域環境と調和した適性な土地利用を誘導することができる。市としても頑張っていきたい。(都市計画課)

通学路の安全対策を

問 通学路の安全への改善の検討内容は。

答 市道について、本市土木課で過去に交通事故が発生した箇所について、区画



側溝にふたが設置された通学路

線やカーブミラーの設置、幼稚園・学校付近での警戒標識設置や路面表示を緊急

の対策と考えており、通学路安全緊急対策事業の補正予算を本定例会にお願いしている。(学校教育課)

小中学校の教室へエアコンの設置を

(学校教育課)

問 学校の耐震補強工事を最優先として、進めているところであるが、来年度に耐震工事がピークになる。それから調査を開始していき、平成26年度から工事着手したい。

(教育総務課)



公明党市会議員団
吉見 茂久 議員

空き家対策について

問 適正に管理されていない空き家対策として、市民の安心・安全な生活を確保することを目的に先進地では空き家などの適正管理に関する条例を制定している。本市の見解は。

答 条例制定で、一定の成果が上がっている先進地もあるが、所有者が特定できない場合や経済的事情で解体が進まないなど、課題が多いと聞いている。有効な対策を講じられるかは、今後の調査課題と認識している。(市長公室)



放置された空き家

問 本年度、既に一事業の指定を行っている。第6次高齢者保健福祉計画の期間で利用見込みが充足するよう毎年、意向調査をしながら計画に沿った事業者の指定を行っていきたい。

介護保険制度における24時間対応巡回・随時対応サービスについて

問 本年度から介護保険の新メニューとして始まったサービスであるが、今後、導入に向けての計画は。

答 本年度、既に一事業の指定を行っている。第6次

福知山市が指定権者であることからサービスの利用状況や地域の実績、利用ニーズなどを十分把握して整備を図っていききたい。(高齢者福祉課)

脳脊髄液減少症について

(高齢者福祉課)

問 どのような病気なのか。
答 交通事故やスポーツ外傷などの身体への強い衝撃が原因で脳脊髄液を包んでいる膜に穴が開き、漏れて減少することで起立性頭痛、頸部の痛み、めまい、耳鳴

り、倦怠感などのさまざまな症状が現れる病気である。
問 他の頭痛などの症状と似ており、病名にたどり着くまで何年もかかったケースがあると聞くと、早期発見の対策は。

答 身近に起こりうる病気であるが、広く知られていないのが現状である。原因が特定できない場合は、まず、脳脊髄液減少症と疑って、CTあるいはMRI、

ミエログラフィなどの検査を実施している。

(健康推進室)

問 早期発見のためにも病気に対する正しい知識が必要である。学校現場に脳脊髄液減少症の小冊子やDVDなどを置き、また、学校の広報を通して保護者への周知を図っていく必要があると考えるが。

答 今後、学校に周知が図れるよう資料の提供に努めたい。(学校教育課)



日本共産党市会議員団
塩見 卯太郎 議員

国保証の取り上げをやめ、国保料の引き下げを

問 福知山市の国保料滞納世帯は国保世帯の1割を超えている。短期証交付が1076世帯、資格証交付は296世帯である。府下の自治体は資格証発行ゼロが

20自治体であり、短期証交付も滞納世帯の50%以下である。福知山市は短期証と資格証発行がダントツに多いのはなぜか。診療抑制につながるものであり中止すべきだが、また、国保料の引き下げはできないか。

答 短期証、資格証の発行は、市要綱で対応している。滞納者には、保険料の減免や、分割納付の相談などきめ細かく対応しており、今後、訪問するなど配慮し資格証明書発行件数を減らす



保険課の窓口

(保険課)

努力をする。国保料は、今年度基金を使い据え置きとしたが現時点で引き下げは困難である。

中小企業の仕事応援と住宅改修助成制度の復活を

問 中小企業振興のため市内業者の実態調査を行うこと。サポートセンターの役割は。不況対策に抜群の効果があつた住宅改修助成制度の復活はできないか。

答 市内業者の9割は中小企業であり、雇用の確保のためにも振興策が重要である。サポートセンターを設置し、実態調査も行い、効果的な支援に向けて商工業

団体とも意見交換していきたい。住宅改修助成制度の復活は困難である。

(商工振興課 建築課)

人権推進室は廃止を

問 人権ふれあいセンターを貸館にし、正職員の配置をやめる考えはないか。男女共同参画センターを人権推進室から独立させ人権推進室は廃止を。

答 人権問題解決のために運営しているセンターは必要であり、男女共同参画事

業は人権推進室が推進する。

(人権推進室)

消費税の増税に対する市長の所見は

問 10%になれば、本市では新たに45億円の負担増になり、市民生活と中小業者に壊滅的な打撃になる。税収も落ち込む。市長は増税に反対する考えは。

答 消費税増税は、市民生活を直撃し、価格に転嫁しにくい中小業者を圧迫する。軽減税率の検討が必要である。

(市長)



平成 会
藤田 守 議員

防災対策は

問 防災行政無線の市全域整備予定や予算措置は。

答 災害情報を知らせるための屋外拡声子局や戸別受信機を併用し、情報伝達手段を充実させる必要がある。財源を含めた基本計画を策

定する必要があり、できるだけ有利な財源確保に努めたい。

(危機管理室)

問 市消防防災センター・危機管理室の現況と課題は。

答 市消防防災センターは現在までトラブルなし。今後、より強固な救急・消防機能を高め総合的な防災拠点を確立したい。危機管理室は自主防災組織の育成を図り、原発を含む地域防災計画などを見直すとともに、警戒活動の一元化に努めたい。

(消防本部 危機管理室)

市民の満足度は

問 導入する市民参加型事業評価システムとは。

答 市民、外部の学識経験者などに参画してもらい、事業の必要性などを外部の視点で公平、客観的な評価を行うつもり。今年度は試行で、来年度から本格的に実施したい。

(市長公室)

農家は高齢者！

問 農産物のブランド化と6次産業化は。

入所できない！

問 介護認定と介護サービスの現況は。

答 要介護認定は訪問調査で二次判定、介護認定審査会で二次判定を実施している。1カ月で370件の現況である。

(高齢者福祉課)

問 入所したくても施設に入れない高齢者は。

答 施設利用できない高齢者には在宅で訪問介護、通所介護、短期入所生活介護などを組み合わせたサービスを受けてもらっている。在宅サービスを利用しながら、継続的な支援を考えている。

(高齢者福祉課)

行政の対応は

問 子どもと高齢者を守る通学路の危険個所の点検は。

答 教育委員会が中心とな

り各学校・PTAに対し危険個所を調査し、緊急性のある個所から安全対策をしていきたい。

(生活交通課)

問 民間保育園への支援は。

答 本市では、園児全体の73%が民間保育園に入所している。今後、多様な保育サービスや運営費・人件費などの補助制度も整えたい。

(子育て支援課)



民営化される中六人部保育園



平成 会
高宮 辰郎 議員

**関電大飯原発
再稼働問題**

問 大飯原発再稼働に関する考え方は。

答 電力は市民生活・地域の経済活動を営む上で、必要不可欠な資源だ。電力の安定供給を強く求めるが、本市も高浜原発から半径30

km圏内に位置し、原発事故は決して他人事ではない。今回の再稼働は暫定的な安全判断に基づいているが、原因究明を徹底し、安全基準の策定と安全性の向上に全力を挙げるべきだ。安全安心、社会経済の発展を前提に、将来にむけたエネルギー対策について研究議論が必要だ。また、速やかに原発に依存しないエネルギー政策に転換するべきだ。

(環境政策室)

介護福祉施策について

問 介護福祉施設待機者の現状と施設の整備状況は。

答 特別養護老人ホームは昨年6月の時点で市内に9施設あり、定員は510人である。その後、現在まで定員が29人の小規模特養が3施設整備され、現在では12施設定員597人となっている。平成24・25年度にそれぞれの既存の2つの特養が各々20床増床予定である。さらに、平成24年度中

に定員20人のケアハウスが開設予定である。これにより平成23年6月から25年度までに小規模特養を含めて147床整備することとなり緊急度の高い待機者の解消が図られると考える。今後3年間介護老人保健施設、介護療養型の医療施設については施設整備の計画はない。特養の入所待機者は、平成23年6月1日現在549人、うち特養への入所資格のない介護認定の自立、要支援の方を除くと519

人だ。緊急度の高い方は、150人程度と推定している。施設整備の中で、緊急度の高い待機者の解消は図れると考えている。

知山雇用連絡会議が開催する就職フェスタにて、介護事業所のPRの機会を設け、介護人材の育成確保に向けた取り組みを行っている。今後も上記の人材確保連絡会と連携しながら、介護人材の育成確保に努めてまいりたい。本市では、成美大学短期大学部で介護福祉士の養成を行ってきた実績がある。今後、府に対して介護人材養成校の誘致を要望していきたい。(高齢者福祉課)



日本共産党市会議員団
大槻富美子 議員

子どもの医療費拡大はいつから

問 中学3年生まで拡大する医療費無料化はいつからか。また、窓口負担500円を200円に引き下げを

答 平成25年度のできるだけ早い時期に通院のみ実施する。通院のみの窓口負担

引き下げは困難だ。

(市長子育て支援課)

放射能食品検査体制づくりを図れ

問 放射能の食品検査要望が大きい。国・府にはさまざまな制度が用意されているにもかかわらず、本市ではその制度を受ける担当課が明確でない。はっきりさせるべきだ。

答 国・府からの窓口は生活交通課。その後の体制づくりは、危機管理室が行う。

(危機管理室)

待機児童の解消を

問 0歳から3歳児の保育所入所が困難となっている。待機児童解消の手立てを。



子育てしやすいまちづくりを

答 定員に余裕のある保育園もあり、そこに入園をお願いする。(子育て支援課)

学校統廃合今後の方向は

問 小規模校は財政的に非効率とする財務省の考えが背景にあり、本市の教育改革プログラムでは、平成27年度までに26校を21校にする計画だが、保護者、地域の合意が得られなければ現在の24校のままということもあるのか。

答 小規模校の状況は少し

でも改善したいが、統廃合は保護者や地域住民の理解や協力を得て進めることが基本だ。強引に進めることは考えていない。平成26年度に計画見直しの予定だ。

(教育総務課)

介護保険料の引き下げを

問 介護報酬が4月に改定されヘルパーの生活援助が60分から45分になった。また、介護職員の賃金を改善する交付金が削られた。その影響は。介護保険料は

制度開始からどんどん高くなってきている。特に第2段階の保険料は国基準を上回っている。直ちに引き下げを

下にならないう見守る。賃金改善分は介護報酬に組み込まれたが、賃金改善となるか検証が必要だ。保険料の上昇を押さえるために、基金を取り崩す予定だ。利用者立場から国に改善を要望する。(高齢者福祉課)



日本共産党市会議員団
中島 英俊 議員

TPPへの市長の態度を問う

問 TPPに入れてほしいのなら「頭金」を払えと、すでにBSE（牛海綿状脳

症）の肉の輸入基準は、「緩和」が表明され、郵政

では「がん保険」への新規参入の「当面見送り」とい

う譲歩。そして今は「自動車」で、軽自動車の区分、車検、エコカー減税の廃止、米国車の日本でのシェア（占有率）の目標設定と達成が求められている。反対すべきではないか。

答 TPPの参加と農林業や医療の確保は、二律背反ではないと思っている。

問 交渉内容は国民にも国会にも知らされず、4年間は秘密にされることになっている。関税ゼロだけでなく「非関税障壁の撤廃」と

称して日本の経済・社会のあり方がアメリカに都合の良いように大改造されてしまふ。国益を大きく損なうのではないか。

答 全国市長会は、地域経済にも多大の影響が懸念されるので、まず国民に詳細な情報を開示し、議論を尽くして慎重な対応を、と政府に求めている。（市長

青年の新規就農者対策を問う
問 全国では「青年就農給付金制度」に希望者が相次

いでいるが福知山はどうか。
答 準備型で2年間、経営開始型では最長5年間で、年間150万円が45歳以下に支給される。「人・農地プラン」で「地域の中心となる担い手」として位置づけられることが必要。21の地区推進協会で説明し、50の集落からプラン作成の意向を聞いている。

農村の「発電」で地域の活性化を
問 「再生可能エネルギー

による発電の固定価格買取制度」が7月1日から開始した。このエネルギーは福知山市全域に豊富にある。画期的なこの「発電の買取制度」を有効に活用し、地域住民が恩恵を受け、農村と地域が再建されるよう活かさねばならない。地域住民が主体となる取り組みが今求められているのでは。



福谷発電所

問 小水力は、河川や農業用水で、小さい落差でも発電は可能だ。木質バイオマス（木材チップやペレットでエネルギーに利用）は雇用創出効果が大きい。基本計画の予定は。
答 すでに、調査・研究をスタートしている。（市長



福知山未来の会
田淵 裕二 議員

市民協働で（宇天田）住居表示の早期改善を

問 住所問題は議会での改善可決後38年が経過した。今日現在も行政住所と通称住所が混在し市民生活に不便と混乱が続いている。昨年議会で改善依頼を行った

が。その後の取組みを問う。
答 該当地区のヒアリングを行い多様化するニーズと意見を確認した。市民の充分な論議が必要と考える。

問 不便な住居表示に直面している、自治会数と人口の実数を把握しているか。
答 現時点で惇明・昭和・大正・雀部地区で49自治会約1万8000人、旧市内では102自治会、約4万人の市民が関係している。改正への問題は何か。不動産・保健・年金・

医療・金融・免許などの住所に関する届けや、歴史的な地名・町名の変更や公園の編成などが想定される。

問 積年の問題は理解するが、市民・来訪者・商業・企業にも多大な影響が出ている。未来へ続く子どもたちのためにも、早期改善を実施すべきだと強く訴える。
答 今後は更に地域調査を進め、市民協働で住居表示問題に関する検討会議などの設置を進めながら検討していきたい。（市長公室

市民がど真ん中の行政サービスとは
問 市役所の、平日窓口時間延長への要望が高い。
答 窓口の時間延長はアンケートの結果からも認識している。課題も多い中、関係課と協議して、今後は住民票などのコンビニ交付や土曜開庁も合わせて実施に向けて検討する。（市民課

問 市役所には、高齢者や障害のある方の来庁も多く、複数の窓口を回ることは大きな負担がある。市民は

この窓口ですべてが済む総合窓口（ワンストップサービス）を望んでいる。実施への対策は進んでいるか。
答 現在は、市民課の窓口で総合案内窓口的な業務を行っている。移動が困難な方や、高齢者対策についての総合窓口やワンストップサービスは、早期実施に向けて、更に関係課と協議を進めていく。（職員課

選挙対策を問う
問 低下している投票率の改善と、若い世代の投票率

向上に向けた、新しい取り組みを実施してはどうか。
答 従来の対策に加え、携帯やメール配信など、きめ細かな地域連携を含めた、市民が参加しやすい選挙対応策への取り組みを進めたい。

問 他市では、具体的な事例を載せた「解りやすい選挙Q&A」などを発行し、安心して選挙活動ができるように啓発を行っているが、

事例を調査し、市民目線での選挙対策に積極的に取り組みたい。（選挙管理委員会



福知山未来の会
森下 賢司 議員

第3種公認陸上競技場の早期整備を

問 スポーツ振興、青少年健全育成などの効果を期待して三段池公園に第3種公認陸上競技場の早期整備を望んでいる。昨年議会では「適正化法への対処の障壁がある」との答弁だが、そ

の後の進展状況はどうか。

また、具体的な整備計画は。

答 現在の多目的グラウンドを第3種公認陸上競技場に改修するには既設構造物の撤去が必要で、適正化法により補助金返還は避けられない状況だ。今の使用形態を見ても多目的グラウンドの改修はできないと考えられており、現在三段池公園内及びその周辺で整備可能な場所を検討している。市民の要望も強く、できるだけ早く陸上競技場を整備した

い。

(都市計画課)

定住拡大を考えて小学校の給食費無償化の検討を

問 本市も今後人口減少が続くことが予測される。子育て世代の定住促進や人口減少防止対策として、小学校の給食費無償化という考え方を活用するまちづくりのツールとして使えないか。

答 学校給食は教育の一環であり、安定的に継続実施する必要はある。無償化の場合、恒久的の制度として構

築する必要があり、財政的な議論が必要不可欠だ。

問 無償化を実現した場合予想される効果は。また、組織の枠を超えて一度本格的に無償化プロジェクトを検討できないか。

答 無償化は子育て世代の家計負担軽減など魅力的でさまざまな効果が期待できるが、市の施策全般を通じて、今何が必要で何が効果的かを考えて進める必要がある。財政上の課題、メリット・デメリットを総合的に検討してプロジェクトを

に検討してプロジェクトを組み、問題解決に努力したい。

(学校教育課・市長公室)

橋梁歩道の除雪や除雪機貸与・購入補助拡充施策を

問 降雪期の橋の歩道は除雪されず、歩行者・自転車とも通行困難である。音無瀬橋など多くの生徒が通る橋は非常に危険。歩道の除雪もできないか。

答 府道除雪委託業者の大規模除雪機は歩道乗り上げができず、人力作業に頼らざるを得ない。自治会や地域の協力を得ている現状だ。

るを得ない。自治会や地域の協力を得ている現状だ。

問 地域で除雪作業をしやすいように、除雪機の貸与や購入補助制度の拡充などが図れないか。

答 現行制度の対象自治会から近年多くの要望がある。現行エリア内の除雪機もまだ充足していない。補助額も現行制度を維持していく中で多くの自治会を支援していきたい。当面は現在の対象範囲・補助額維持が必要と考えている。(土木課)



公明党市会議員団
足立 伸一 議員

再生可能エネルギーの調査研究について

問 市長公約の太陽光や水力、木質バイオマス(12ページ参照)の再生可能エネルギー調査研究はどの進めるか。

答 人々の関心が高く、技

術も飛躍的に向上している分野だ。研究の方向性を見定め、必要な裏づけ予算を検討したい。

問 実効性のあるプランと制作をするのか。

答 市民・民間会社・職員で構成する調査研究会をつくり、導入の可能性や存在するエネルギー量をもとに、地域特性に合う普及促進プランを作成する。(環境政策室)

土地開発公社の解散について

問 解散までに公社に外部監査を入れる考えは。

答 公社役員に民間資格者が就き、議会の意見を入れた公認会計士の調査も行うなど、やるべきことはすべてやった。これは外部監査に代わるものであると思う。

問 それは地方自治法による外部監査とは異なる。公社設立から約30年間の簿価操作の情報開示は、不十分である。事業の実態解明とここに至った責任の明確化は図れると思うか。

答 提言に基づいて、さまざまな取り組みを行ってきたことでご理解を願う。

問 債権放棄の額約19億円は、増えることはないか。

答 今回の全体計画で示したとおりである。(財政課)

(仮称)市民交流プラザ福知山について

問 建物ガラス張りだけでなく、会計もガラス張りの特別会計にできないか。

答 特別会計は、特定の収入で特定の支出にあてるものであり、特別会計にあたらせない。

問 市民から見える工夫をすべきだ。

答 維持費など財政運営で心配されるのは理解している。市民参加型事業評価システムなどを活用して、透明化に努めたい。(市長公室)

林業・森林対策について

問 国は木材自給率50%を掲げて閣議決定し、スタートした。市の基本的な考え方は。

答 人工林の多くが伐採期に達している。森林整備計画を見直し、伐期の長期化、路網整備、集約化、機械化を進め、林業経営の自立化を図る。

問 間伐材の増加で、木材価格が暴落している。供給側への援助以外に、需要側へ予算配分し、利用の道筋をつける施策が大切だが。

答 情報は得ているので、木材の利用面の対策もさらに、進めていく。(林業振興課)



6月定例市議会常任委員会審査報告

務 常 任 委 員 会

6月定例市議会本会議において、付託を受けた条例改正、補正予算など10議案を、7月12日13日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、5議案を全員賛成、5議案を賛成多数で可決しました。

市 民 厚 生 常 任 委 員 会

6月定例市議会本会議において、付託を受けた条例改正、補正予算の2議案を条例改正は6月27日、補正予算は7月12日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、条例改正議案を賛成多数、補正予算を全員賛成でそれぞれ可決しました。

主 な 議 案 審 査

▼平成24年度一般会計 補正予算(所管事項)

●(仮称)市民交流プラザ
ふくちやま建設事業における駅前市営駐車場の解体時期はとの問いに、駐車場については10月から解体していきたいとの答弁でした。
また、土地開発公社解散・清算事業について、委員からは、資料が要求がないと提出されないなどの意見がありました。さらに、中期財政計画の変更資料の提出を早急に求める、全議員への説明を求めるなどの要望がありました。10月の決算を反映した時点で中期財政計画の変更資料を提出し、議会に定期的に事業報告するとの答弁でした。

(賛成多数可決)

▼福知山市土地開発公社の解散・清算に係る福知山市第三セクター等改革推進債償還基金条例の制定

●過去3度の国の健全化計画になぜ漫然と対応しなかったか、過去に代替土地が多く売り切るとの答弁があったがどうか、土地売却2億の収入がなく繰り上げ償還できない場合はどうするかとの問いに、当時は計画に対して希望自治体も少なかった、代替土地は売却することしか考えなかった、賃借料で約1億円の収入ありと1億は土地の売却収入を考えているとの答弁がありました。委員からは、専門家を入れた第三者の検証検討委員会を設置して代物弁済土地の年次計画や売却・管理などを行うことを提案するとの意見がありました。

(全員賛成可決)

▼福知山市土地開発公社への権利の一部放棄、公社の解散、三セク債起債許可申請、財調の繰り入れ

●当初の購入価格を含めた個別の簿価算出内容、地価公示価格の提示をとの問いに、時価評価は固定資産税評価の70%を基準としており、個別の簿価算出内容については、公社に確認して返答するとの答弁でありました。委員からは、簿価の付け替えや粉飾決算を知らなかったとする答弁や平成12年以来3度にわたる国の技術的助言に漫然と対応してこなかった責任について、歴代土地開発公社役員の経営責任と債務負担行為に対する市の監督責任を明確にした総括を行い、市民の信頼回復と今後の行政運営につなげていかねばならぬとの意見がありました。

(賛成多数可決)

主 な 議 案 審 査

▼福知山市印鑑登録及び証明に関する条例等の一部改正について

●本市における外国人登録者数と、その中で外国人登録法廃止に伴い住民基本台帳の登録からはずれる人数とその内訳、それに対する対応を問う質疑があり、平成24年5月末時点の外国人登録者は904人、うち住民基本台帳に移行しないのは把握している現時点では13人、その内訳は、在留期限切れが5人、3カ月未満の短期滞在者が8人である。また在留期限切れへの対応として、本年5月に仮住民票を発送した際、在留資格の取得・延長を申請するよう周知徹底を図っていると答弁がありました。

(賛成多数可決)

▼平成24年度一般会計 補正予算(所管事項)

●住宅用太陽光発電システム設置事業では、補助金額が1kwあたり2万円に、補助限度額上限が4kwから5kwになります。予算150件の根拠を問う質疑があり、昨年度の当初予算は100件であり、今年度はその1.5倍の150件を予算計上した。また標準家庭では何年で初期投資費用が回収できるのかという問いに、設置費用や天候そのほかの条件によって異なるが、一般的には10年から15年と言われているとの答弁がありました。

(賛成多数可決)

▼(仮称)福知山市発達支援センター基本計画事業

●(仮称)福知山市発達支援センター基本計画事業では、さらに詳しい説明を求める質疑に対し、基本計画の策定には、第一に就学前の療育について、現在週当たり1回の療育を実施しているが量的に必要な児童に複数療育を実施し拡充すること、第二に「のびのび福知っ子就学前発達支援事業」などで早期発見、早期支援が進んできているが、さらに事後支援の充実を図ること、第三として、小学校に入ってから継続した支援が必要であり、これに対応するため学童期部門を新設することなどが主なものであるとの答弁がありました。

(賛成多数可決)

(全員賛成可決)

済
常任委員会

6月定例市議会本会議において、委員会付託を受けた補正予算1議案を7月12日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、1議案を全員賛成で可決しました。

主な議案審査

▼平成24年度一般会計補正予算(所管事項)

●大呂自然休養村整備事業について、今後の調査・実施設計費の予算である。計画は指定管理が進められており、施設建設は平成26年までかかる。概算として管理棟建設やグランドゴルフの1コース増設等に、約3億6千万円かかる。管理棟の1階には、入浴・休憩室を設けたい。今はグランドゴルフの利用が多くあり、今後は、大型バスが近くまで上げられるようにしたい。また、キャンプ場と管理棟との関係では、利用申込みを管理棟にすることのみで、あとの利用はこれまで通りである。



平日も使用が多いグランドゴルフ場

●有害鳥獣捕獲事業について

今回のシカの報償費(猟期中に1頭に3800円)の継続は未定で、生息頭数の把握は難しいが、今年度の実施し捕獲データとして検証をしていく。猟期中に綾部市で5000円、舞鶴市で8000円出ており、柵、檻も同額である。また、駆除の実施隊に上積みはする。猟期中になると、ハンターはシカに興味がないが、報償費が出ることで駆除をしよう。



アーケードが撤去される広小路通り

(全員賛成可決)

●まちなみ環境整備事業について、社会資本整備交付金を使い家屋の改修を行うものである。社会資本整備交付金は5年単位だが、毎年見直しがあり、当初としては2億円あまりで、案内サイン、道路、街灯、住宅改修に利用をする。広小路通りではアーケードが撤去されることで、60店舗の約半分が取り組みたいとの希望がある。事業費の関係で今年度待った人は来年度以降に受ける。

文
教
建
設
常任委員会

6月定例市議会本会議において、委員会付託を受けた補正予算など5議案を7月12日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、全議案を全員賛成で可決しました。

主な議案審査

▼平成24年度一般会計補正予算(所管事項)

●地籍調査事業として、観音寺・興地区がモデル地区として事業採択され403万円が補正されます。今回は1カ所だが、全市域を30年かけて進めていく予定について、委員から、財政的に市の負担を問う質疑があり、事業費は国が50%、京都府が25%、市負担が25%となり、そのうち20%は特別交付税の対象となり、市の負担の実質は5%となるが、人件費については補助対象外となるとの答弁でした。

●都市計画道路見直し事業

として592万8000円が補正されます。都市計画道路は34路線約70kmが計画され、そのうち約40%約28kmが未整備です。未着手区間の90%は計画決定後30年以上経過しており、将来を見据えた道路整備を重点的、効率的に進めていくことが求められることから、京都府と連携調整し、見直し作業が行われます。

●(仮称)市民交流プラザ

事業に、6000万円が補正されます。新図書館中央館の開館に向けて、2年間で計画的に資料整備を図り、図書館の魅力を増し、本を介した交流・情報拠点としての機能を高めます。

●福知山市学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

●夜久野地域の3小学校の統合に伴い、所定の規定の整備を行う必要があるため、改正です。精華小学校、育英小学校および明正小学校を統合し、新たに夜久野小学校となります。委員からは、開校に向けての進捗状況が住民に伝わるようにとの意見が出されました。

(全員賛成可決)

6月定例市議会常任委員会審査報告



6月定例会市議会の議決結果について

■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案の賛否状況を掲載しています。）

議案	議案名 (議決結果)	議第1号	議第2号	議第4号	議第7号	議第12号	議第13号	議第14号
		平成24年度福知山市一般会計補正予算 (第1号)	福知山市第三セクター等改革推進債償還基金条例の制定について	福知山市印鑑登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	権利の放棄について(3ページ参照)	福知山市土地開発公社の解散について	第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請について	財政調整基金の繰入れについて
議決結果		可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
日本共産党福知山市会議員団	塩見 卯太郎	×	○	×	×	×	×	×
	足立 進	×	○	×	×	×	×	×
	大槻 富美子	×	○	×	×	×	×	×
	中島 英俊	×	○	×	×	×	×	×
公明党福知山市会議員団	吉見 純男	×	○	×	×	×	×	×
	大谷 洋介	○	○	○	○	○	○	○
	足立 伸一	○	○	○	○	○	○	○
福知山未来の会	吉見 茂久	○	○	○	○	○	○	○
	田中 法男	○	○	○	○	○	○	○
	奥藤 晃	○	○	○	○	○	○	○
	田淵 裕二	○	○	○	○	○	○	○
	谷垣 和夫	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席
平成会	森下 賢司	○	○	○	○	○	○	○
	谷口 守	○	○	○	○	○	○	○
	高宮 辰郎	○	○	○	○	○	○	○
	藤田 守	○	○	○	○	○	○	○
福政会	桐村 一彦	○	○	○	○	○	○	○
	稲葉 民俊	○	○	○	○	○	○	○
	和田 久	○	○	○	○	○	○	○
新政会	芦田 眞弘	○	○	○	○	○	○	○
	稲垣 司郎	○	○	○	○	○	○	○
維新福知山	木戸 正隆	○	○	○	○	○	○	○
	高橋 正樹	○	×	○	×	○	○	○
	塩見 日出勝	○	×	○	×	○	○	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 -：棄権 ※野田勝康議員(福政会)は、議長職のため表決に加わっていません。

■全員賛成で可決となった議案

議第3号	福知山市税条例の一部を改正する条例の制定について	議第17号	公平委員の選任について
議第5号	福知山市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	議第18号	教育委員の任命について
議第6号	福知山市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定について	議第19号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第8号	損害賠償の額について	議第20号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議第9号	損害賠償の額について	議第21号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議第10号	辺地総合整備計画の変更について	議第22号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議第11号	過疎地域自立促進市町村計画の変更について	議第23号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議第15号	専決処分の承認について	市会発議第2号	基地対策予算の増額等を求める意見書
議第16号	公平委員の選任について	市会発議第2号	福知山市土地開発公社解散・清算に関する決議



福知山市議会主催 第2回 議会報告会開催

福知山市議会は、第2回議会報告会を8月1日、3日の2日間、次の4カ所で開催しました。

会場は、大正地域は、けやき集会所（内田町）、雀部地域は前田区公会堂（前田）、昭和地域は中丹勤労者福祉会館（昭和新町）、三岳地域は三岳会館（一ノ宮）で行い、参加者は68名でした。



今回のテーマは、2月臨時議会、3月定例議会、6月定例議会の報告と議会改革の一環として新たに特別委員会を設置したこと、議会基本条例の策定の現状報告について、次のとおり報告しました。

2月臨時議会

工事請負契約の変更、訴訟事件の和解についての2議案の審議内容と結果について。

3月定例議会

次年度の当初予算（一般会計、特別会計、企業会計）の内訳と、審議内容と結果、主な施策について。

6月定例議会

一般会計補正予算が過去に比較して大規模になった交流プラザの建設、福知山市土地開発公社の解散・清算の仕組みの説明、審議内容と結果について。

特別委員会の設置

議員報酬等検討委員会と、広報広聴に関する検討委員会を設置した趣旨と活動について。

議会基本条例の現状

議会基本条例は、現在全文作成し、市長部局に関係している条項の協議中であ

り、協議が終われば市民の皆さんにアンケートを行い、できるだけ早い時期に条例化することなど、策定の現状について。



報告会で出された質問や意見など

- ◇参加者が少ない。チラシ配布だけでは集まらない。人に集まってもらいやすい魅力が必要ではないか。
- ◇議会基本条例はいつごろできるのか。
- ◇土地開発公社の解散・清算について、土地の購入について確認しているのか。
- ◇またこの問題について議会として決議されたが、拘束力は。また責任の所在は。結論の解散ありきでプロセスがない。
- ◇学校耐震化で、学校の天

井は大丈夫なのか。

◇地域の要望についても出されました。

・中学生の通学路に歩道がなく危険だ。

・冬期の通学路の除雪を業者の好意でお世話頂いているが、何らかの補助ができないのか。

・有害獣害対策の強化を。

・過疎がなくなるよう、光があたるよう手立てをしてほしい。

アンケートの内容

（内容の感想・意見）

- ◇解り易い説明をしていただき理解できました。
- ◇資料は鮮明なものにしていただきたい。
- ◇この報告会は、市民に市政の関心、向上のために、ぜひ続けて頂きたい。
- ◇参加者が少ないのが非常に残念に思います。
- ◇議会報告会の開催は大変良かったと思います。開かれてきた議会と思います。
- （今後のテーマ）
- ◇議員が、将来どんな市にしたいか。ビジョンを参加議員から5分程度で、「私

は議員としてこんな福知山市を目指して活動したい」というスピーチを聴きたい。

◇人口減少になっている問題、中小企業、特に小売店の店じまいが多い中での対策について。

（市政に関するご意見を）

◇議会基本条例を制定されるのなら、一般質問につき、一回だけの反問権を付与すると議会活性化になると思っています。

◇交流プラザの建設について、維持管理費の節減対策や工事費と物件費の内訳は。

◇地方交付税が減少していくと思うが、その収入減の対策はどうされるのか。



出された質問や、意見・要望のうち、即答ができない問題については、関係部局とも協議のうえ、連絡します。

由良川改修促進

特別委員会活動報告

4月27日に委員会を開催し、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所から梅敷副所長・水橋課長様をお迎えし、平成24年度の事業概要について説明を受けました。

「事業費は、全体で65億7100万円、前年比1.04倍で今後地元の協力をいただきながら地区ごとの具体的な整備計画を進めていきたい。また『由良川下流部緊急水防対策』は3年後の平成26年度の完成に向けて、整備計画の輪中提や宅地嵩上げを仕上げていくよう積極的に進めている」との内容でした。

活動記録

● 4月27日

由良川改修促進特別委員会

● 5月17日

由良川沿川市議会関係委員会
由良川沿川市議会議長(綾部市・舞鶴市は常任委員会所管)

● 5月22日

由良川改修促進特別委員会
会現地視察

● 8月7日～8日

由良川沿川市議会関係委員会
由良川沿川市議会議長(要望活動)
国土交通省近畿地方整備局・国土交通省・財務省・関係国会議員

● 8月23日

由良川改修促進特別委員会
要望活動(京都府・国土交通省近畿地方整備局)



由良川改修促進特別委員会 (4月27日)



由良川改修促進特別委員会
現地視察 (5月22日)

広報広聴に関する 検討委員会を設置

- 委員長 芦田 眞弘
- 副委員長 吉見 茂久
- 委員 藤田 守
- 谷垣 和夫
- 高橋 正樹
- 木戸 正隆
- 大槻 富美子

福知山市議会の広報などの現状については、年4回の議会だよりの発行(臨時に発行の場合もある)や市

議会ホームページ、昨年より試行開催の議会報告会などが主なものです。議会から市民のみなさんへの「広報」という一方通行にとどまっており、市民のみなさんの幅広いご意見を聴く「広聴」という機能が充実しておりません。そこで、今後の議会広報広聴のあり方を調査検討するために、検討委員会を設置いたしました。月に1回程度開催し、本年12月を目途に方針を決定します。

第1回会議

5月1日
委員長を決定

第2回会議

6月12日
副委員長を決定
規約の確認

● 広報活動の手法について
検討

第3回会議

7月20日
● 広報活動の手法について
検討

9月定例会市議会の予定 (23日間)

- 9月5日(水) 招集予定、本会議 (提案理由説明)
- 13日(木) 本会議(質疑、一般質問)
- 14日(金) 本会議(一般質問)
- 18日(火) 本会議(一般質問)
- 19日(水) 各常任委員会
- 20日(木) 各常任委員会
- 26日(水) 本会議(採決)
- 27日(木) 会期

※この議会予定は、今後変更する場合があります。また、このほかに、全議員協議会、各常任委員協議会などの会議が随時開催されます。

9月定例会本会議を 傍聴してみませんか

本会議の傍聴は、市役所本庁舎6階の傍聴受付で、所定の用紙に氏名を記入し、傍聴規則を守って、傍聴席(定員60人)において傍聴できます。なお、団体で傍聴を希望される場合は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

駐車場を利用される方は、90分を超えると無料駐車券を発行しますので、市議会事務局まで申し出てください。

市議会事務局 TEL 0773-24-7031

議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞している南山城村議会(研修)5月21日



議会だより 編集委員会 活動報告

議会だより編集委員会は5月21日に南山城村議会へ行政視察に行きました。市と村ということで行政規模は違いますが、分かりやすく親しみの持てる内容に努める編集委員の熱い想いは同じであり、参考にするべき点も多くありました。さて、ふくちやまし議会だよりの発行にあたっては毎回の定例議会閉会後に委

員会を3〜4回程度開催し、各議員から寄せられた原稿に対して「分かりやすい内容に」という委員全員の共通認識のもと、投稿者の意向を尊重しながら、限られた文字数の中で字句の訂正や表現の工夫、紙面構成をしてまいります。

市民厚生委員会 正副委員長に 更がありました

荒川浩司議員が、6月3日付、福知山市長選挙に立候補されたため、公職選挙法の規定により即日退職されました。

このことにより、市民厚生委員会の正副委員長の変更がありました。

委員長 谷垣和夫
副委員長 藤田守
委員 吉見茂久
奥藤久晃
和田久

大槻富美子



●ご意見箱●

議会についてや議会だよりを読まれて、ご意見をいただきましたので紹介します。

傍聴規則を改正しました

市民の方より「傍聴規則の見直しを」とのご意見をいただきましたので、傍聴規則を改正しました。

主な改正点

- 個人情報保護の観点から傍聴者名簿(住所・氏名・年齢を記入)を、個人カード式(氏名のみ記入)に変更し、箱の中に入れてもらうよう改めました。
- 携帯電話の使用制限を明記しました。
- その他の文言も現代用語に改めました。

(平成24年3月1日改正)

まちなか循環路線バスの運行が始まり、大変便利になったと書いてありましたが、バスが通っていない地域は不便だということを知ってほしい。小型バスや高齢者がバスや電車に乗る場合の補助があれば、バスが通っていない地域の方もまちなかへ出かけやすくなると思います。

(今回いただきましたご意見については、6月定例議会の中でも質問がありました。)

- ・ 写真は分かりやすいものにしてください。
- ・ 数字の算出根拠が分かるようにしてください。
- ・ 一般質問の内容について、その後の取り組みや状況を掲載してください。

お寄せいただきました貴重なご意見を参考にして、みなさんにより分かりやすい紙面となるよう努めます。

市議会に関するご意見や問い合わせは下記までお願いします。

〒620-8501 福知山市字内記13番地の1(市役所本庁舎5階)
電話 0773-24-7031 FAX 0773-24-7080
Email: sigikai@city.fukuchiyama.kyoto.jp

「元気やで福知山！」 議員訪問インタビュー No.4

■今回の訪問議員：谷垣 和夫議員・藤田 守議員（三和荘多目的ホールにて）

「踊っている皆さんの笑顔が素敵」 「福知山よさこい絆」の皆さんを訪問

「元気やで福知山！」の第4回を掲載します。福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を取材先として募集し、議員が訪問します。

今回は、各地のお祭りやイベントで活躍中の「福知山よさこい絆」の皆さんを、普段の練習場所である三和荘の多目的ホールにお訪ねしました。ホール内は熱気ムンムン、座長の松井恵子さんの掛け声に合わせて、幼児も含め約20人のメンバーが練習に励んでおられました。



約9年前に公民館活動から始まった「みわよさこい連」の運営を平成18年三和町商工会女性部が「福知山よさこい絆」と

命名して始め、平成20年4月、商工会の合併により単独活動となって現在に至っています。なつて今に至っています。

祭りあるところ「福知山よさこい絆」ありという感じで、これまでの活動の場は「福知山お城まつり」「京都さくらよさこい」「大原神社春季例大祭」「夜久野高原まつり」「鬼力の由良川鬼まつり」など数えあげたらキリがないくらいです。



10月には成美大の学園祭にも出演予定とのことですが、何といたっても今年の特筆すべき出来事は、6月にハワイでのフェスティバルに参加されたこと

と、皆さんにとって忘れられない思い出となったことでしょう。

「福知山よさこい絆」を運営していくには旅費や会場費、それに大阪から指導に来てもらっている講師の費用なども捻出しなければならず、その苦労は発足当初から変わらないが、公演先での人のふれあいなど得難い経験ができることが皆さんの大きな喜びとなっているとのことでした。



最近嬉しかったことをお聞きしたら、7月の綾部水無月祭での出演の後、司会の方から「踊っている皆さんの笑顔がとっても素敵だった」と言ってもらったこと。観客にも笑顔になつてもらえるよう、常に心掛けてい

るとのことでした。

また公演を見た若い人や子どもたちが加入してくれて、平均年齢が下がったことも嬉しかったこと（笑）今後は男性にも加入してもらって、よさこいの旗を振ってもらえたら、よりパワフルな踊りになるんだけどとのことでした。

興味のある方はぜひ、練習日である月曜日夜7時半に三和荘の多目的ホールを訪ねてみてください。もちろん年齢性別を問わず大歓迎とのこと。「福知山よさこい絆」の皆さんの今後ますますのご活躍をお祈りします。



（インタビューにに応じていたいた左から、片山エリカさん、西岡まゆみさん、細見和美さん、土井やよいさん、片山二美代さん、松井恵子さん、細見美晴さん、谷垣和夫議員、藤田守議員）

編集後記

4月に発生した亀岡市の通学児童の事故や、大津市の中学生の自殺問題、お盆の時期に京都府南部地域を襲った集中豪雨による災害など予想しがたき悲しい出来事が多くなっております。

他市で起きた事件や事故、災害を他人事と考えず、本市に置き換えてきつちりと対応することが大切ではないでしょうか。6月定例市議会は市長選挙の関係で通常より遅れて開会し、7月20日に閉会しました。市民のみなさんのお手元に届く頃には9月定例議会が開会をしております。遅くなりましたことをお詫びいたします。

さて、私たち編集委員は2年目を迎えました。今後とも、みなさんに分かりやすく、親しみの持てる内容となるよう、ふりがなや注釈を加えるなど、より一層の紙面の工夫に努めてまいります。（議会だより編集委員）